

# φ 220 フローティング ディスクローター & ブラケットキット 取扱説明書

(対向 2P キャリパー用)

製品番号	06-08-0212 フロントキャリパーブラケットキット
	06-08-0213 φ 220 ディスクローター & ブラケットキット
適応車種	APE50 (FI) (AC18-1000001 ~)
	APE100 TypeD (HC13-1000001 ~)
	XR50 Motard (AD14-1000001 ~)
	XR100 Motard (HD13-1000001 ~)
	NSF100
	06-08-0024 (φ 220 フローティングディスクローター) 装着車 モンキー : ゴリラ : モンキー (FI) (弊社製φ 30 フロントフォークキット) 装着車 (06-01-0734) (06-01-0735) (06-01-0097) (06-01-0096)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎補修部品につきましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求めの販売店にお問い合わせ下さい。
- ◎新品のディスク、ブレーキパッド装着後はブレーキの効きが悪い状態です。当たりが出るまでブレーキの効きに十分注意しながら走行を行って下さい。
- ◎新品状態で急激なハードブレーキ操作を行わないで下さい。最初は軽いブレーキ操作で徐々にブレーキディスクに当たりを付け、一旦ブレーキ温度を冷やします。ディスクローターとブレーキパッドが完全に当たりが付くまでこの操作を行って下さい。  
又、ブレーキは冷えている場合効きが悪い状態で、ある一定の温度に上がらないと安定した制動力を発揮しません。十分注意してご使用下さい。
- ◎当製品を取り付けるには別途 Brembo 2POT キャリパー (20.6951 又は 20.B852.10 取り付けピッチ 84mm、ラージピストン) が必要です。
- ◎ノーマルバンジョーボルト (ピッチ 1.25) キャリパー側はネジピッチが異なる為、使用出来ません。別途 M10 ピッチ 1.0 のバンジョーボルトをお買い求め下さい。弊社製バンジョーボルト : 00-07-0079 (レッド) / 00-07-0096 (ゴールド)
- ◎別途、弊社製ステンレスホースが必要になる場合があります。
- ◎当製品にはブレーキ液が含まれておりません。別途ブレーキ液をお買い求め下さい。(DOT4. (BF-4) 以上)
- ◎当製品の取り付け作業の際は、上記適応車種に合った純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に作業を行って下さい。
- ◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。
- ◎当製品の取り付け作業の際は、使用する車種の純正サービスマニュアルを必ず参照し行って下さい。又、当製品は重要保安部品の為、取り付けは技術的信用の有る専門店へご依頼される事をお勧めします。
- ◎弊社製φ 30 フロントフォークキット (06-01-0726) (06-01-0727) に取り付けの場合、別途ディスクロータースペーサー (00-00-2069) が必要になります。

## ～特徴～

- 品番 06-08-0024 (φ 220 フローティングディスクローター) は Brembo 社製 2P キャリパーに対応するディスクローター幅の為、当製品を装着する事でステップアップが可能になり足回りのカスタムイメージを高める事が出来ます。
- Brembo 社製 2POT (20.6951 又は 20.B852.10) キャリパーを取り付けるキャリパーブラケットです。
- キャリパーブラケットは、アルミ合金を削り出し表面にアルマイトを施しております。
- Brembo 社製 2POT キャリパーを装着する事で十分且つ強力なストッピングパワーが得られコントロール性を向上させます。
- φ 220 フローティングディスクはステンレス製で、ローターハブ部には特殊アルミ合金を使用。ゴールドアルマイト仕上げ。

**!** 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)

**!** 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

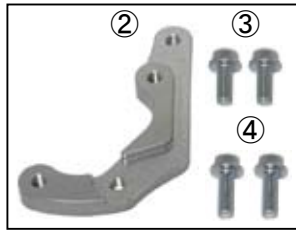
- ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。(事故につながる恐れがあります。)
- 損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。(事故につながる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

①



06-08-0212



番号	部品名	個数	リペア品番
1	フローティングディスクローター	1	06-08-0024
2	ブラケット、キャリアパー (対向2P用)	1	_____
3	フランジソケットキャップスクリュー 8x20	2	00-00-0238 (4ヶ入り)
4	フランジソケットキャップスクリュー 8x25	2	00-00-0183 (2ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。  
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。  
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- 平坦で足場のしっかりした場所で、リアメンテナンスタンドを使用し車両を安定させます。アクスルナット緩めます。
- ノーマルのフロントキャリアパーを取り外します。
- フロントメンテナンスタンドを使用し、フロント部分をアップさせます。
- アクスルシャフトを抜き、フロントホイールを取り外します。
- ディスクローターを取り外します。

⚠ 警告：取り付け前に必ずディスクローターを脱脂する事。

- ①フローティングディスクローターをフロントホイールに新品のディスクボルトを使用し、規定トルクで締め付けます。ディスクボルトを再使用する場合はネジロック剤の塗布をお願いします。推奨ネジロック剤：ロックタイト 241

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。  
ディスクボルト  
トルク：29N・m (3.0kgf・m)



- フロントホイールを車体に取り付け、アクスルシャフト、アクスルナットを取り付けます。
- ②キャリアパーブラケットをフロントフォークに④フランジソケットキャップスクリュー 8x25 を使用し、規定トルクで締め付けます。ネジロック剤の塗布をお願いします。推奨ネジロック剤：ロックタイト 241

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。  
フランジソケットキャップスクリュー  
トルク：25N・m (2.5kgf・m)



- キャリアパーを②キャリアパーブラケットに③フランジソケットキャップスクリュー 8x20 を使用し、規定トルクで締め付けます。ネジロック剤の塗布をお願いします。推奨ネジロック剤：ロックタイト 241

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。  
フランジソケットキャップスクリュー  
トルク：25N・m (2.5kgf・m)



- フロントメンテナンスタンドを外し、アクスルナットを規定トルクで締め付けます。

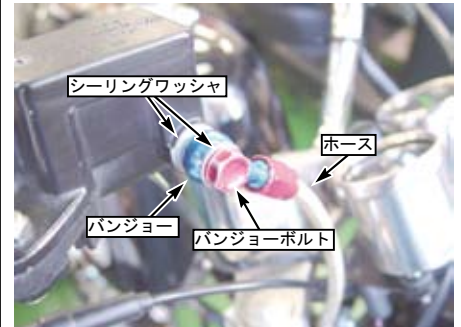
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。  
アクスルナット  
トルク：59N・m (6.0kgf・m)

- バンジョーをシーリングワッシャーで挟み込み、バンジョーボルト M10xP1.25 でブレーキマスターに仮止めします。
- バンジョーをシーリングワッシャーで挟み込み、バンジョーボルト M10xP1.0 でブレーキマスターに仮止めします。
- ブレーキホースの取り回しに無理が掛からない様に取り付けしバンジョーボルトと、フィッティングを規定トルクまで締め込みます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト  
トルク：15N・m (1.5kgf・m)  
フィッティング  
トルク：6N・m (0.5kgf・m)

- ブレーキのエア抜き要領に従いエア抜きを行います。

ブレーキホース取付け例



使用しているパーツ

- 参考例：車両モンキー  
弊社製φ30mmフロントフォークキット 06-01-0096  
& ステアリングハンドルパイプ 06-01-255  
/06-01-2501 装着車  
スリムラインホース：06-080-0004 (675mm)  
マスターシリンダー側  
・バンジョーボルト (M10xP1.25)  
レッド：00-07-0038  
ゴールド：00-07-0097  
・バンジョーストレート (1個)：00-00-0006  
ブレーキキャリアパー側  
・バンジョーボルト (M10xP1.0)  
レッド：00-07-0079  
ゴールド：00-07-0096  
・バンジョーストレート (1個)：00-07-0006

参考例：XR50/100 Motard

- スリムラインホース：06-080-0007 (775mm)  
マスターシリンダー側  
・バンジョーボルト (M10xP1.25)  
ゴールド：00-07-0097  
・バンジョー 25° (1個)：00-07-0037  
ブレーキキャリアパー側  
・バンジョーボルト (M10xP1.0)  
ゴールド：00-07-0096  
・バンジョーサイド 45° (1個)：00-07-0089  
(スリムラインホースは車両によって長さが変わります。長さをよく確認し注文して下さい)

# ブレーキのエア抜き要領

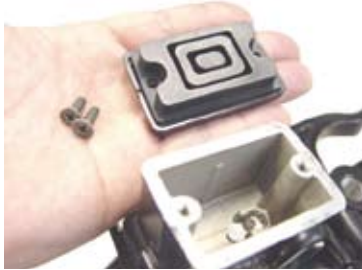
## ⚠ 注意

- ブレーキフルード補充時にゴミや水を混入させない事。
- 銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。
- ブレーキフルードは付属のものを使用する事。DOT4 (BF-4)
- 抜き取ったブレーキフルードは再使用しない事。
- ブレーキフルードは塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。  
(付着した場合は、速やかにブレーキフルードを洗い流す事。)
- ブレーキホースの取り外しの際など油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
- シーリングワッシャは再使用しない事。
- 規定トルクは必ず守る事。

## ⚠ 警告

- ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。  
万一、付着した場合はパッドを交換し、ディスクローターは脱脂する事。
- 損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

- ・フロントブレーキマスターシリンダー ASSY. の2本のスクリューを取り外し、マスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを取り外す。



- ・ブレーキキャリパー ASSY. のブリーダーバルブに透明なブリーダーホースを接続し、ホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にする。



- ・フロントブレーキマスターシリンダー ASSY. のカップ内にブレーキフルードを上限線まで補充する。

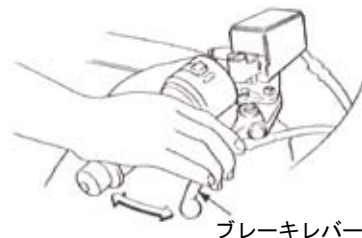


- ⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。
- ⚠ 注意：銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。

- ・ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキフルードが充分出てくるまでこの作業を繰り返す。



- ※オイルカップのブレーキフルード量に注意し新しいブレーキフルードを補充しながら作業を行う。



ブレーキレバー

- ・ブレーキレバーを握ったままブレーキキャリパー ASSY. のブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付ける (①)。  
※ブリーダーバルブを緩めた状態でブレーキレバーを戻さない事。
- ・ブレーキレバーをゆっくりと戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置する (②)。



ブレーキレバー



- ・①、②の操作をブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで繰り返す。  
※カップ内のブレーキフルードの量を確認しながら作業を行い、下限線付近まで減少していれば補充する。

- ・ブリーダーバルブから出てくるブレーキフルードにエアの混入が無くなればブリーダーバルブを規定トルクで締め付ける。



- ⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。  
ブリーダーバルブ  
トルク：5.9N・m (0.6kgf・m)

- ・オイルカップの上限線までブレーキフルードを補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをスクリュー2本を用いて取り付ける。



- ⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。